

平成 15 年 3 月期第 3 四半期の業績等の概況

上場会社名 デジタルアーツ株式会社
(コード番号 2326)

本社所在地 東京都港区北青山三丁目6番16号

問合せ先 責任者役職名 取締役 管理本部長
氏 名 後 藤 茂
T E L (03) 5485 - 1340

1 業績

(1) 平成 15 年 3 月期第 3 四半期 (平成 14 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 12 月 31 日) の業績

(百万円未満切捨)

	15 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)	対前年同 期増減率	14 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
	百万円	%	百万円	百万円
売 上 高	465	-	-	546
営 業 利 益	52	-	-	80
経 常 利 益	8	-	-	80

(注) 1. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

2. 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

(2) 部門別の売上高内訳

(百万円未満切捨)

	15 年 3 月期第 3 四半期 (当四半期)		対前年同 期増減率	14 年 3 月期第 3 四半期 (前年同四半期)		参 考 前期 (通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	%	百万円	%	百万円	%
セキュリティ事業	380	81.6	-	-	-	407	74.6
インフォメーション 事業	80	17.3	-	-	-	85	15.7
その他の事業	4	1.1	-	-	-	53	9.7
合 計	465	100.0	-	-	-	546	100.0

(注) 1. 前年同四半期については、四半期決算を行っておりませんので記載を省略しております。

2. 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

(百万円未満切捨)

項 目	15 年 3 月期第 3 四半期	増減額	前期末
	百万円	百万円	百万円
(資産)			
現 金 預 金	360	159	201
受 取 手 形	154	70	84
有 価 証 券	-	197	197
(負債)			
買 掛 金	-	12	12
未 払 消 費 税	5	6	12
賞 与 引 当 金	3	8	11

(注) 当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。

2 業績の概況

当四半期（平成14年4月1日～平成14年12月31日）におけるわが国の経済は、年初見られた景気の一部持ち直しの動きに反し、年後半では世界経済の先行きに対する懸念や株価低迷の影響等が最終需要を停滞させる要因となり、後半はほぼ横ばいでの推移となりました。

こうした経済環境のなか、インターネットセキュリティへの意識は、ネットワーク上の「外部からの攻撃」に関するものから、ネットワークを介した「情報の漏洩」へと移りつつあります。このような背景が、当社のWebフィルタリングを中心とした事業全体への追い風となり、今期も順調に業績を拡大しつつあります。

セキュリティ事業につきましては、現在注力のビジネス市場において販売数が順調な伸びを示したことにより、380,443千円（前年同期比157.0%）となりました。本事業の中心となる「i-フィルター」の販売ライセンス数も、前期までの累計獲得ライセンス数が約32万ライセンスに対し、当四半期での獲得総数が約41万ライセンスと、販売数を大きく伸ばしております。コンシューマ市場向けには、フィルタリングソフトとしては初めて、個人/家庭向けパソコン（NECの「LaVie」、
「VALUESTAR」、及びSONYの「VAIO」）に「i-フィルター」がバンドルされ、あわせてISPとのアライアンスにより新技術「ARS」を使ったフィルタリングサービスが開始されたことで、これまで以上に幅広い一般家庭層へのフィルタリングソフト提供が実現しております。

インフォメーション事業につきましては、企業向けに販売を行っている情報収集サービス「NET iScope」が順調に契約数を伸ばしており、売上高80,557千円（前年同期比 134.1%）となりました。

その他の事業につきましては、地域ネットワーク向けのグループウェア製品である「i-コミュニケーション」等の販売を計画しておりましたが、経営資源をセキュリティ事業とインフォメーション事業に集中したことにより、売上高4,922千円（前年同期比 11.1%）にとどまりました。

以上の結果、当四半期における売上高は465,922千円（前年同期比134.4%）となりました。また営業利益においては52,822千円となり、平成14年9月に株式上場に伴う株式公開費用45,947千円を吸収し経常利益8,400千円を計上いたしました。

（注）前年同四半期の比較数値については、四半期決算を実施しておりませんが、月次決算の数値を基に参考として記載しております。

3 当期の見通し

第8期通期の売上高及び利益の予測につきましては、期首の計画通り、売上高820,345千円、経常利益207,658千円、当期利益117,623千円を予想しております。